



報道関係者各位

ギブン・イメージング社 第1四半期業績報告

— 第1四半期収益 18%増の2,710万ドル —

- 2008年度収益 および一般会計原則(GAAP)に準拠しないEPS(1株当たり利益)業績予想を再確認-

【2008年5月13日 イスラエルヨクナム発】ギブン・イメージング社 (NASDAQ: GIVN)は本日、2008年3月31日に終了した第1四半期の業績を発表しました。

世界の総売上は、2007年度第1四半期の2,310万ドルから、2008年度第1四半期は18%増の2,710万ドルとなりました。

GAAPに準拠した純利益は、2007年度第1四半期の10万ドルから2008年度第1四半期は110万ドルに、完全希薄化後1株当たり利益は2007年度第1四半期の0.00ドルから2008年度第1四半期は0.03ドルに増加しました。

GAAPに準拠しない純利益は、2007年度第1四半期の160万ドルから2008年度第1四半期は10万ドル、完全希薄化後1株当たり利益は2007年度第1四半期の0.05ドルから、2008年度第1四半期は0.00ドルとなりました。

ギブン・イメージング社のホミ・シャミール社長兼最高経営責任者は次のように述べています。「第1四半期業績 18%増を達成できたことを大変うれしく思います。弊社は、世界的な収益増加戦略の成功により、ヨーロッパ・中東・アフリカ、そしてアジア太平洋地域において高い売上成長を記録いたしました。第1四半期の成長は概してゆるやかなものですが、高い成長率を達成することができました。さらに、経費管理によってGAAPに準拠しない純利益を、弊社の第1四半期の損失予想をくつがえしプラスに転じることができました」

また、ホミ・シャミールは「弊社は、今後とも事業を多角化し収益増大を図るため、ヨーロッパ最大の国々における保険償還を進展させてまいります。同時に、可能な限り早く市場に浸透することを確実なものにするため、日本市場でのより広い展開を推進してまいります。弊社のもっとも重要な市場である南北アメリカにおいて、検査の難しかった原因不明の消化管出血や、クローン病や鉄欠乏性貧血が疑われる場合の PillCam[®] SB の使用拡大に注力しています。さらに、最新の臨床上のデータを活用して、セリアック病に対する PillCam[®] SB や食道静脈瘤への PillCam[®] ESO の使用を拡大しています」と述べています。

注)日本では、小腸用の PillCam[®] SB カプセル内視鏡のみ、承認、販売されています。

以下の表は、2008 年度第 1 四半期の GAAP に準拠した数値、および GAAP に準拠しない数値の調整表です(単位百万米ドル。EPS を除く)：

	2008 年 第 1 四半期	2007 年 第 1 四半期
GAAP に準拠した純利益(損失)	\$1.1	\$0.1
InScope 利益	(5.4)	
報酬費(FAS123R)	1.5	1.1
IP 訴訟費用	2.9	(*)0.4
GAAP に準拠しない純利益	\$0.1	(*)\$1.6
GAAP に準拠しない EPS	\$0.00	\$0.05

(*)GAAP に準拠しない数値への再分類。2007 年度第 1 四半期の業績報告では、GAAP に準拠しない項目の数値を報告していない。

粗利益率は 2007 年度第 1 四半期が 73.9%であったのに対して、2008 年度第 1 四半期は 71.1%でした。

2008 年度第 1 四半期の営業活動による純現金収入は計 690 万ドル。2008 年 3 月 31 日時点の現金および現金同等物、短期投資、有価証券の総額は、1 億 920 万ドルです。

2008 年度第 1 四半期の業績分析

南北アメリカ地域における売上は 1,580 万ドルで、2007 年同期の 1,540 万ドルから 2%増となりました。ヨーロッパ・中東・アフリカでの売上は、前年同期の 590 万ドルから 39%増の 820 万ドル、また、アジア太平洋地域では、前年同期の 180 万ドルから 75%増の 310 万ドルとなりました。

2008 年度第 1 四半期の世界での PillCam[®] SB の販売個数は、2007 年度同期比 9.5%増の 46,100 個となりました。南北アメリカにおける販売数は、2007 年度同期の 30,200 個から 29,900 個となりました。一方、同地域の 2008 年度第 1 四半期の PillCam[®] SB の受注数量は、2007 年度同期の 27,700 個から、29,300 個へと増加しました。ヨーロッパ・中東・アフリカでは、PillCam[®] SB 販売 12.7%増加、アジア太平洋地域では、2007 年度第 1 四半期比で倍増以上となりました。アジア太平洋地域における PillCam[®] SB の販売増は、主に日本での販売増によるものです。

PillCam[®] の売上は総収益の 85%を占めています。昨年同期は 87%でした。PillCam[®] SB の受注数量は 2007 年度第 1 四半期の約 38,700 個から、15%増の約 44,600 個となりました。

第 1 四半期に関する追加データは、弊社ホームページの IR セクションにてご覧になれます。
(www.givenimaging.com)

2008 年度業績予想

弊社は、2008 年度収益予想を 1 億 3,000 万ドルー1 億 3,600 万ドル、GAAP に準拠しない完全希薄化後 1 株当たり利益予想を 0.44ドルー0.52ドルと再確認しました。

今後、短期間に予定されているオリンパス株式会社との知的財産に関する合意締結により、2008 年度通年の GAAP に準拠した完全希薄化後 1 株当たり利益は、0.25ドルから 0.34ドルまでの範囲になると予想しています。

この予想には、合意締結後に、オリンパス株式会社から受け取る税引き前利益 233 万ドルを考慮に入れておらず、それによって税引き前 1 株当たり利益を 0.08ドル押し上げる可能性があります。

以下の表は、2008年度のGAAPおよび非GAAPに準拠した1株当たり利益を調整しています。

	2008
GAAPに準拠したEPS	\$0.26 - \$0.34
InScope 利益	(0.17)
報酬費(FAS123R)	0.23
IP 訴訟費用	0.12
GAAPに準拠しないEPS	\$0.44 - \$0.52

ギブン・イメージング社について

ギブン・イメージング社は、消化器疾患を発見するための、革新的で患者様に優しい製品を開発、製造、販売することで、消化器の診断に新たな視野をもたらしています。ギブン・イメージング社のテクノロジープラットフォームは、PillCam[®] プラットフォームに代表され、カプセルの中に小さなカメラを装着し、患者様が嚥下する使い捨ての PillCam[®] カプセル内視鏡と、データレコーダ、RAPID[®] ソフトウェアからなります。ギブン・イメージング社は、多くのカプセル型内視鏡を販売しています。アメリカをはじめ 60 カ国以上で発売されている、小腸全体を検査することができる PillCam[®] SB カプセル内視鏡、食道を直接観察できる PillCam[®] ESO カプセル内視鏡、PillCam[®] カプセル内視鏡が消化管を通過できるかどうか開通性をみるための Agile[™] 通過確認用カプセル、すでに欧州では販売されている、大腸を直接観察できる PillCam[®] COLON カプセル内視鏡などがあります。PillCam[®] COLON は、欧州では CE マークを取得しましたが、アメリカではまだ販売にいたっておりません。世界でこれまで 70 万人以上の患者様が PillCam[®]カプセル内視鏡検査のベネフィットを受けました。ギブン・イメージング社の本社、工場、研究開発施設は、イスラエルのヨクナムにあり、アメリカ、ドイツ、フランス、日本、オーストラリア、シンガポールに子会社があります。ギブン・イメージング社の大株主としては、Elron Electronic Industries (NASDAQ & TASE: ELRN)があります。さらに情報が知りたい方はこちらをご覧ください。http://www.givenimaging.com.

注)日本では、PillCam[®] SB カプセル内視鏡(小腸用)のみ、承認、販売されています。

本件に関するお問合せ:

パーソン・マーステラ社(ギブン・イメージング株式会社広報代理店)

平田・福島 電話 03-3264-6713

GAAPに準拠しない会計方法の使用

このプレスリリースは、株式による報償費用および特許訴訟経費を除外して純利益、基本および希薄化後1株当たり利益を算出する会計方法を採用しており、したがって、一般に公正妥当と認められた会計基準(GAAP)に準拠していません。経営陣は、これらのGAAPに準拠していない会計方法は、当社の業績について有益な補足情報を提供し、FAS 123Rの採択および米国での特許訴訟の開始に先立って、経営陣と投資家が当社の純利益および1株当たり利益を過去の純利益および1株当たり利益と比較して評価する能力を高めると確信しています。このGAAPに準拠しない財務情報は、単独であるいはGAAPに準拠して準備され示された財務情報の代わりとして考慮されるものではありません。経営陣は事業の社内での評価にあたりGAAPに準拠したおよびGAAPに準拠しない会計方法の両方を使用します。したがって、これらのGAAPに準拠しない数値を投資家に対し開示することが重要であると考えました。

前向きな声明について

このプレスリリースは、米国の1995年民間有価証券訴訟改革法の免責条項内での前向きな声明を含んでいます。前向きな声明は、私たちのビジネス、将来の収益、経費、収益性に関する見通し、またそれらに限らず含まれています。前向きな声明は、「可能性がある」「予期する」「見積もる」「期待する」「意図する」「予定する」「確信する」という前向きな単語を伴う場合がありますが、伴わない場合もあります。前向きな声明は、既知および未知のリスクと不確実性および、出来事、結果、業績、状況または企業の達成事項を引き起こす可能性のある他の要因を含みますが、前向きな見通しで述べられた未来の出来事、結果、業績、状況または達成事項は著しく異なることがあります。前向きな声明とは異なる出来事、結果、業績、状況と達成を引き起こす要因としては、下記を含みますが、下記に限りません。

(1) PillCam COLON における十分な治験結果 (2) 規制当局の認可、弊社製品の販売許可、または規制環境の変化に対応できる当社の能力 (3) 当社の販売、マーケティング、生産計画の成功 (4) 特許および他の知的財産権の保護と有効性 (5) 為替レートの影響 (6) 競合他社の影響 (7) オリンパス社との特許訴訟を含む将来の訴訟の結果 (8) 政府および商業的保険者から保険償還を得る当社の能力 (9) 四半期の業績の変動 (10) イスラエルにおける武力衝突または市民または軍による騒乱 (11) 米国証券取引委員会に提出され公開されている他のリスクと要因は、Form 20-F で提出した 2007 年 12 月 31 日に終了した年次報告書に掲載されている Risk Factors (リスク要因)、Cautionary Language Regarding Forward Looking Statements (将来の業績に関する見通しの注意事項)、Operating Results and Financial Review and Prospects (営業成績と財務概況と見込み) の表題で記載されていますが、これらに記載されているリスクと要因に限りません。このプレスリリースに含まれる前向きな声明はプレスリリースの日付時点のものであり、過度に信用を置かないようにしてください。関連する証券取引法に基づき重要情報を公開する義務以外は、企業には前向きな声明の変更や、出来事、予期せぬ出来事の発生を公表する義務はありません。

ギブン・イメージング社 (Given Imaging Ltd.) および連結子会社
連結貸借対照表
 単位: 千米ドル (株式データを除く)

	<u>3月31日,</u> <u>2008</u> <u>(未監査)</u>	<u>12月31日</u> <u>2007</u> <u>(監査済)</u>
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	\$ 43,117	\$ 37,103
短期投資	23,594	23,191
売上債権:		
売掛金 (純貸倒引当金 2008年3月31日、\$286 2007年12月31日、\$329)	18,364	23,315
その他	3,466	10,385
棚卸資産	16,560	15,960
前払費用	1,206	1,289
繰延税金資産	1,188	1,350
仕入先前渡金	253	190
流動資産合計	<u>107,748</u>	<u>112,783</u>
保証金	916	892
従業員退職金用資産	3,477	3,007
有価証券	42,235	41,629
固定資産 (減価償却累計額控除後の原価)	15,408	15,422
その他資産 (償却累計額控除後の原価)	<u>3,663</u>	<u>3,583</u>
資産合計	<u><u>\$ 173,447</u></u>	<u><u>\$ 177,316</u></u>

ギブン・イメージング社 (Given Imaging Ltd.) および連結子会社
連結貸借対照表
 単位: 千米ドル (株式データを除く)

	3月31日, 2008 (未監査)	12月31日 2007 (監査済)
負債および株主資本		
流動負債		
キャピタル・リース流動分割債務	\$ 133	\$ 121
仕入債務		
買掛金	9,781	7,275
その他	16,593	21,012
繰延収益	2,887	9,379
流動資産合計	29,394	37,787
長期負債		
繰延収益	-	-
純キャピタル・リース債務	561	448
従業員退職金負債	4,071	3,490
長期負債合計	4,632	3,938
負債合計	34,026	41,725
少数株主持分	2,679	1,996
株主資本		
株式資本:		
普通株式、1株額面 NIS 0.05 (授權株式数 90,000,000; 発行済全額払込済株式数		
2008年3月31日、29,252,785株		
2007年12月31日、29,241,785株	343	343
資本剰余金	168,520	166,813
資本準備金	2,166	2,166
その他包括的累積利益	364	-
累積欠損金	(34,651)	(35,727)
株主資本合計	136,742	133,595
 負債および株主資本合計	 \$ 173,447	 \$ 177,316

**ギブン・イメージング社 (Given Imaging Ltd.) および連結子会社
連結損益計算書**

単位:千米ドル(株式数および株式データを除く)

	3月31日までの 3ヵ月		12月31日に 終了した通期
	2008	2007	2007
	(未監査)	(未監査)	(監査済)
収益	\$ 27,124	\$ 23,052	\$ 112,868
原価	(7,835)	(6,022)	(29,721)
政府補助金ロイヤルティ早期返金	-	-	(4,843)
総利益	19,289	17,030	78,304
営業経費			
研究開発費総額	(3,796)	(2,783)	(12,847)
補助金ロイヤルティおよび非ロイヤルティ	420	93	1,242
研究開発費純額	(3,376)	(2,690)	(11,605)
販売促進費	(14,962)	(11,506)	(55,446)
一般管理費	(7,279)	(3,943)	(20,981)
販売提携消費	5,443	-	22,860
その他	-	-	(422)
営業経費合計	(20,174)	(18,139)	(65,594)
営業利益(損失)	(885)	(1,109)	12,710
財務収益純額	1,596	1,202	5,520
法人税および少数株式前利益	711	93	18,230
法人税	(159)	(247)	(4,548)
少数株式前利益(損失)	552	(154)	13,682
子会社少数株式損失	524	225	1,503
純利益	\$ 1,076	\$ 71	\$ 15,185
1株当たり利益			
普通株1株当たり基本利益	\$ 0.04	\$ 0.00	\$ 0.52
普通株1株当たり希薄化後利益	\$ 0.03	\$ 0.00	\$ 0.49
普通株1株当たり基本利益を計算するのに用いた 普通株の加重平均数	29,250,952	28,659,520	28,961,968
普通株1株当たり希薄化後利益を計算するのに用いた 普通株の加重平均数	31,094,578	30,503,871	31,030,458

連結キャッシュフロー計算書
 単位：千米ドル(株式数および1株当たりデータを除く)

	3月31日までの 3ヵ月		12月31日に 終了した通期
	2008	2007	2007
	(未監査)	(未監査)	(監査済)
営業活動によるキャッシュフロー:			
純利益	\$ 1,076	\$ 71	\$ 15,185
営業活動に使用された純現金と 純利益との調整項目:			
子会社損失少数株式	(524)	(225)	(1,503)
減価償却および償却	1,265	1,150	4,771
繰越税金資産	162	(239)	24
ストックオプション補償金	1,511	1,109	5,651
株式に基づく補償金に関する超過税制優遇措置	-	-	(693)
その他	172	73	380
売却目的有価証券 純減 (増)	(89)	3,078	5,092
売掛金 減 (増)	4,951	2,139	(4,428)
未収金 減 (増)	7,550	(745)	(8,922)
前払費用 減 (増)	83	(426)	51
仕入先前渡金 増 (減)	(63)	(43)	(108)
棚卸資産 減 (増)	(600)	781	2,208
仕入債務 減 (増)	(2,088)	(3,601)	8,570
繰延収益増 (減)	(6,492)	42	(14,903)
営業活動による純現金収入	<u>6,914</u>	<u>3,164</u>	<u>11,375</u>
投資活動によるキャッシュフロー:			
固定資産および無形資産の購入	(1,247)	(692)	(5,772)
預け金	(25)	(11)	(355)
有価証券売却代金	18,446	-	18,753
固定資産売却代金	25	-	-
有価証券取得	(19,627)	(17,358)	(36,584)
投資活動による純現金収入	<u>(2,428)</u>	<u>(18,061)</u>	<u>(23,958)</u>
金融活動によるキャッシュフロー:			
キャピタル・リース債務元金支払	(50)	(3)	(37)
普通株式発行による収益	196	352	4,280
株式に基づく補償金に関する過剰税制優遇措置	-	-	693
合同会社による少数株式発行	1,207	-	-
金融活動による純現金収入	<u>1,353</u>	<u>349</u>	<u>4,936</u>
現金収入への為替レート変更の影響	<u>175</u>	<u>49</u>	<u>240</u>
現金および現金同等物の増 (減)	<u>6,014</u>	<u>(14,499)</u>	<u>(7,407)</u>
期首の現金および現金同等物	<u>37,103</u>	<u>44,510</u>	<u>44,510</u>
期末の現金および現金同等物	<u>\$ 43,117</u>	<u>\$ 30,011</u>	<u>\$ 37,103</u>
キャッシュフロー補足情報			
法人税支払額	\$ 77	\$ 75	\$ 1,098
キャピタル・リースによる取得資産	\$ 109	\$ -	\$ 569